

## (財) 自治体国際化協会 ロンドン事務所 マンスリートピック (2013 年 1 月)

### 「ドイツで初となる「馬税」を導入したバト・ゾーデンアッレンドルフ市」

#### —財政難に対応した市町村の独自税制—

ヘッセン州の多くの市町村は財政難に苦しんでいる。州政府は、市町村が赤字を減らすための特別援助措置を導入しており、将来に均衡予算に転じることができるように支援を行う。この取り組みは、ヘッセン州では「市町村保護措置」と呼ばれ、地方自治体への「救済資金」に相当する。州政府は、市町村と個別に交渉し、契約を結んだ上で、市町村の借金の一部を引き受け、利子返済のための援助を行う。市町村は財政を立て直すための政策をさらに強化し、歳出を減らすだけでなく、新しい収入源を開拓する努力も示さなければならない。

ドイツの地方自治体が、新しい地方税（地域的消費税及び奢侈税 örtliche Verbrauchs- und Aufwandsteuern）を導入できる権限は、基本法第 105 条 2 項に定められている。具体的な内容は各州の地方自治体に関する法律に規制されているため、州間の違いも存在する。地方自治体があらかじめ規定された個別の税目しか導入できない州もあれば、完全に新しい税を創設することができる州もある。また、実際の新税の導入についての条件も違う。州政府の許可が必要な場合もあれば、届出のみで十分な場合もある。ヘッセン州では、他の地方自治体が導入していない地方税の提案・導入も可能となっている。財政危機を乗り越えるために、「市町村の保護措置」の下で州政府は市町村に新たな地方税の導入を進めている。

このことを背景に、ヘッセン州の北部にあるバト・ゾーデンアッレンドルフ市（人口 8400 人）はドイツで初めて「馬税」の導入を決定した。馬税という概念はドイツでは 1980 年代から議論されているものの、導入までは至っていなかった。2012 年 12 月 14 日に市議会は、導入を可決し、2013 年 1 月からは、レジャー目的での馬の所有者に 1 頭当たり年間 200 ユーロ（約 2 万 3000 円）が課税される仕組みである。市内には約 150 頭の

馬がいると考えられているため、税収は全額で3万ユーロと推測されるが、制度運用のための行政費はその半分か、3分の2ぐらいと想定されている。

馬税に対する反対はバト・ゾーデンアッレンドルフ市内だけでなく、全国的に根強い。馬税の導入の一つの前提は、馬を飼っている、または乗馬をする人は基本的に所得が高いという見方があり、また、犬税はすでに長い歴史があることから、他のレジャー目的のために飼育される動物に課税することも、公平性の観点から考えられる。

しかし、乗馬する人、馬を飼育する人や乗馬スポーツ協会等は、馬税は不釣り合いで、不公平である、と導入を批判している。実は、乗馬をする多くの方は、裕福とは言えない。ドイツでは動物愛護の観点から馬は自然死するまで飼育する伝統があり、飼育される馬の多くは高齢である上、馬の世話をし、レジャー時間を馬中心で過ごす人々の3分の2は、21歳未満である。

犬税との比較も当てはまらない。犬税は、特に危険な犬には重い税負担を課すなど、犬の数を市町村が抑制し、飼育する人の責任感を高めるなど規制的な意味合いが強い。これに対し馬は地方にとって経済的な利益をもたらすものであり、飼育を抑制する必要があるわけではない。また、馬の飼育のためには、馬小屋の施設が必要であるが、これを営業する人たちは影響を受けることになる。また、ヘッセン州でも収入源を多様化するために馬に関係する経済活動を開始した農家も少なくない。

最も重要な懸念は、馬税はヘッセン州の州憲法に違反する可能性があるという乗馬スポーツ協会の主張である。乗馬はドイツではスポーツと見なされているため、馬の所有を課税対象とすれば、初めてのスポーツへの課税ということにもなるが、ヘッセン州憲法では、スポーツは特別な保護を受けているため、憲法訴訟となる可能性が高い。

バト・ゾーデンアッレンドルフ市は、全体では8千万ユーロもの借金があり、その返済に僅かな貢献しかできない馬税がその価値以上のトラブルを生むことへの懸念が今なおくすぶっている。市はすでに不動産税を引き上げ、または市立幼稚園の料金も高くしたが、それらの措置に対しては強い反対運動は起こっていなかった。

参照

Bad Sooden-Allendorf, "Satzung über die Erhebung einer Pferdesteuer im Gebiet der Stadt Bad Sooden-Allendorf"

<http://www.bad-sooden-allendorf.de/fileadmin/ortsrechte/Pferdesteuer.pdf>

Frankfurter Rundschau online, 23.11.2012, 'Reiter müssen zahlen'

<http://www.fr-online.de/rhein-main/pferdesteuer-bad-sooden-allendorf-reiter-muessen-zahlen,1472796,20946220.html>

Die Welt online, 17.12.2012, 'Mit Pferdesteuer unter den Rettungsschirm'

<http://www.welt.de/vermischtes/article112063741/Mit-Pferdesteuer-unter-den-Rettungsschirm.html>

Information about the consolidation fund of the Land Hesse

<https://kommunalerschuttschirm.net/>